

田中貴金属工業、FC EXPO 2017 に出展

世界一の出荷量^(※)を誇る、燃料電池用電極触媒の展示の他 水素・燃料電池市場に向けた、田中貴金属工業の主力製品を併せて紹介

※出典：『環境・エネルギー触媒関連市場の現状と将来展望 2015』発行元：富士経済

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、田中貴金属グループの製造事業を展開する田中貴金属工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）が、2017年3月1日（水）から3日（金）まで、東京ビッグサイトで開催される世界最大規模の燃料電池の展示会「FC EXPO（FC エキスポ）2017 ～第13回 [国際] 水素・燃料電池展～」に出展することを発表します。

近年、燃料電池市場はエネファームに加えて燃料電池車の一般発売、欧米を中心としたフォークリフト向けの市場の拡大や、中国における燃料電池バス・トラック市場の立ち上がりなどにより好調に推移しています。田中貴金属工業ではそれら燃料電池の製造に欠かすことができない固体高分子型燃料電池（PEFC）用電極触媒を製造・販売しており、世界一の出荷量を誇っています。会場では、田中貴金属では本触媒を展示し、実物と共に、詳細を紹介します。

この他、昨年に引き続き、再生可能エネルギーからの水素製造に用いられる固体高分子型水電解（PEEC）用電極触媒を紹介するほか、改質触媒、PROX、パラジウム合金水素透過膜、燃焼系浄化触媒など、水素社会に必要な燃料電池周辺の技術における貴金属材料について、パネル展示や担当者からの説明を行います。

燃料電池市場が拡大している中、田中貴金属工業では2016年度の燃料電池用電極触媒の出荷量が過去最高を達成すると見込んでいます。昨今のパリ協定などの世界規模の環境規制によって、よりクリーンなエネルギーへの需要が高まることが予想されますが、田中貴金属工業は、今後も貴金属製品のリーディングカンパニーとしてクリーンエネルギー社会に貢献します。



<出展ブースイメージ図>



<出荷量世界一を誇る、田中貴金属工業のPEFC用電極触媒>

【FC EXPO 2017 ～第 13 回 【国際】 水素・燃料電池展～ 出展概要】

■会期：2017 年 3 月 1 日（水）～3 日（金） 10:00～18:00（最終日は 17:00 終了）

■会場：東京ビッグサイト 田中貴金属工業出展ブース《E65-4》

■主な展示内容：

燃料電池用電極触媒	長年培ってきた貴金属触媒技術や電気化学技術を結集し、燃料電池のカソード用に高活性な触媒を開発しています。また、アノード用には耐一酸化炭素（CO）被毒特性の優れた触媒を開発しています。
パラジウム合金水素透過膜	燃料電池の水素製造において、金属の中でパラジウムだけが持つ水素ガスのみを透過する性質を利用し、水素原料ガス中の不純ガスを取り除きます。田中貴金属工業独自の極薄材加工技術と高洗浄技術により、信頼性が高く、水素透過性能を最大限に引き出した水素ガス精製が可能です。
燃焼系浄化触媒	水素精製過程で発生した不純ガスなどを浄化・脱臭する触媒です。メタルハニカムに貴金属触媒を担持した触媒により、低温での燃焼が可能です。
貴金属化合物	めっき薬品や触媒として、多くの産業分野で使用される貴金属化合物です。シアン化金カリウム・塩化パラジウムなどの一般的なものから複雑な有機貴金属化合物まで、用途の合わせて柔軟に生産し、万全の品質管理体制で提供いたします。
PROX 触媒	燃料電池に使用される改質ガス中に含まれる一酸化炭素を酸素で選択的に酸化除去するための触媒です。貴金属を高分散化することによって、高空間速度領域においても、低温から高温の幅広い温度領域でも高活性を示し、貴金属担持量を低く抑えた低コスト製品です。
水電解用電極触媒	水電解のアノード（酸素発生極）に用いられる電極触媒です。触媒の表面積制御、および量産化に成功しました。

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,476名（2016年3月31日）

グループ連結売上高：1兆267億723万円（2015年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HPアドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

■田中貴金属工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

従業員数：2,218名（2016年3月31日） 売上高：1兆54億1150万円（2015年度）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種産業用貴金属製品の製造・販売、輸出入

HPアドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属に携わる専門家集団として、産業用、資産用、宝飾用の事業領域で製品を提供し、アジアではトップクラスの貴金属取扱量を誇っております。主な事業である産業用ビジネスでは、半導体、エネルギー、自動車、通信、家電、医療など様々な産業に欠かせない貴金属材料や製品・技術の開発を進めています。グローバルに営業拠点、生産拠点を構え、2016年9月には、田中貴金属工業株式会社が、Metalor Technologies International SAの100%株式を取得し、買収いたしました。今後も田中貴金属グループは、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会の実現に貢献し続けます。

2016年11月現在

【持株会社】

- ・TANAKA ホールディングス株式会社（純粋持株会社）

【事業会社】

- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社
- ・Metalor Technologies International SA